

菩提樹池からトトロの森6号地へ



菩提樹池からトト口の森6号地へ

見どころガイド

市民の手によりかつての谷戸の田んぼの風景が復活した菩提樹池・田んぼ。ここからアルペンロードを通りトト口の森6号地へ向かう。のどかな景色を楽しめるコースだ。

コースガイド

西武球場前駅

西武狭山線

▼ 30分

1 菩提樹池

▼ 15分

2 菩提樹田んぼ

▼ 10分

3 ピアノ広場

4 アルペンロード

▼ 20分

5 トト口の森6号地

▼ 20分

西武遊園地駅

小手指駅行きバス約20分

近隣の散策を続けたい場合

西武球場前駅より 西武球場前駅へ

見どころ:トト口の森1・3号地

堀口天満天、狭山湖堤防など

トト口の森6号地より 下山口駅へ

見どころ:荒幡富士、いきものふれあいの里センターなど

菩提樹池と菩提樹田んぼ

霊園から散策路の坂を下ってゆくと見える、小さな池。菩提樹(ボダイギ)池だ。

谷戸に流れ込む水を溜めて下流の水田の水源とした池で、水田が耕作されていた頃は地域の農家の方たちによって大切に管理されていたが、耕作されなくなると放置され、落ち葉や土砂が流入されるままになっていた。財団ではその風景を復活させようと、地域や地権者の方に働きかけ、市民団体と協力して池の整備と一部の田んぼの復活に取り組んだ。池の底に溜まった土砂を出し、壊れた堰を修復した。

また、下流の田んぼは草に覆われていたため、草取りから始め、田おこし、畦の修復を行ない、2000年には刈り取りができるまでに復活させることができた。

現在では市民グループが中心となって、田んぼの整備や田んぼ体験などをすすめている。

昨年、菩提樹池とその周辺緑地は、埼玉県によって買い取られ保全されることが決まった。



アルペンロード

菩提樹田んぼの先に、まっすぐな道が現れる。6号地までほぼ一直線にのびたこの道は、通称アルペンロードと呼ばれている。この道の下には東村山にのびる狭山湖からの送水管が地中に埋設されている。いくつかの尾根を横切って伸びているのでアップダウンが楽しめ、散策にはもってこい。

尾根の部分には畑や道があり、それぞれの場所で眺望を楽しむことができる。急な坂もあるので注意して歩こう。

トト口の森6号地

ここは、開発が進む狭山丘陵の東部地域にあり、住宅地の中に残った貴重な緑地の一部。コナラと、大きく育ったクヌギが多いのが特徴。以前は堆肥に使うため落ち葉掃きがされていたが、近年はあまり管理がされていなかったため、ゴミが捨てられ下草が生い茂っていた。

トラスト取得の後はボランティアによる作業によって、明るい雑木林になり、子供たちの遊び場ともなっている。

